

S&Pグローバル 日本サービス業PMI®

サービス業は堅調な拡大が続くも、新規受注の伸びは鈍化

2026年3月

新規受注の伸び、3か月ぶりの低水準に

コスト圧力は一段と強まる

景況感、パンデミック以来の最低水準

最新の調査データによると、3月の日本サービス業全体の事業活動は引き続き堅調に拡大した。しかし、新規受注の伸びが弱まる中、その拡大は2月からわずかに鈍化した。

同時に、企業は雇用増の弱まりを示唆し、今後1年間の景況感は2020年9月以来の最低水準まで低下した。価格データを見ると、コスト圧力が引き続き強まる一方で、サービス単価の上昇率は数年ぶりの高水準だった2月から緩和した。

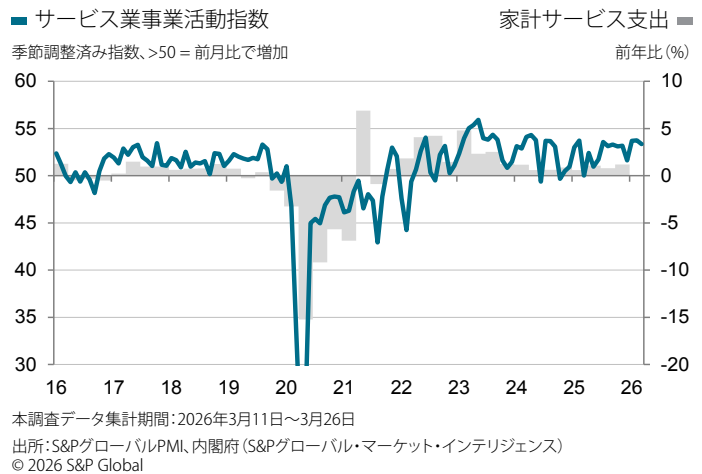
S&Pグローバル日本サービス業PMIは、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50.0を超えれば全体として前月比で増加したことを、50.0を割り込めば減少したことを意味する。

3月の主要指数は21か月ぶりの高水準だった2月の53.8から53.4に低下し、日本のサービス業の事業活動は減速したものの堅調な拡大が続いていることを示した。事業活動は過去12か月連続で拡大しており、多くの企業は直近の拡大の要因として新規受注量の増加や顧客数の増加を挙げた。セクター別データをみると、事業活動の拡大は金融・保険セクターを筆頭に幅広いセクターに及んでいることがわかる。

3月の新規受注は21か月連続での増加となったものの、昨年12月以来最も小幅で、緩やかな伸びにとどまった。新規受注が増加したケースでは、多くの調査対象企業がその要因として基調の需要環境改善や新規顧客の獲得を挙げた。3月は海外からの新規受注も改善した。新規輸出受注の伸び率は緩やかだったものの、過去10か月で2番目に速いペースだった。

日本のサービス業は、稼働能力拡大や欠員補充に取り組む中で、3月も引き続き雇用を拡大した。ただ、雇用の伸び率は昨年10月以降で最も鈍く、小幅なものにとどまった。新規受注の動きと同様に、第1四半期末の受注残は増加したがそのペースは弱まった。その増加は小幅にとどまったが、調査の長期的な減少傾向とは対照的な動きだった。



コメント

Annabel Fiddes, S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクス・アソシエイト・ディレクター

「最新のPMIデータは、日本企業が2026年第1四半期を通じて堅調に推移したことを示し、全体の事業活動は引き続き堅調なペースで拡大した。しかし、生産高指数と新規受注指数がいずれも直近の高水準だった2月から低下し、3月は成長の勢いが弱まる兆しが見られた。

この減速は中東での戦争勃発と重なり、コスト圧力が一段と強まった。特に、企業は昨年4月以来最も急激なコスト上昇を記録し、その結果、販売価格は再び歴史的な大幅上昇となった。中東での戦争がどの程度長引くか、また世界的需要やインフレにどのような影響を与えるかの見通しが立たないことから、3月の景況感は押し下げられ、先行きに関する全体的な楽観度は新型コロナパンデミック以来の最低水準となった。」

3月はコスト圧力が一段と強まり、平均購買価格がほぼ1年ぶりの急激なペースで上昇した。調査対象企業によると、中東での戦争がインフレ加速の一因となり、原材料、エネルギー、燃料の価格がいずれも上昇した。対照的に、サービス単価の上昇率は2月から鈍化した。とはいえ、全体的には高止まりが続いている。

3月の事業活動見通しに関する楽観的な見方は、新型コロナパンデミック以来の最低水準に低下した。企業は今後1年間で生産高が増加すると概ね見込んでいたものの、中東での戦争に伴う先行き不透明感により景況感が押し下げられたとの報告があった。

S&Pグローバル 日本複合PMI®

3月の日本企業の事業活動、拡大ペースは鈍化するも堅調さを維持

3月のS&Pグローバル日本複合PMI生産高指数は33か月ぶりの高水準だった2月の53.9から53.0に低下。民間企業全体の生産高の伸びのペースが鈍化したことを示した。ただ、拡大ペースは全体的な堅調さを維持し、調査の長期平均を上回る速さだった。セクター別データによると、生産高の伸びは製造業、サービス業いずれも鈍化した。複合新規受注は2026年初来最も緩やかなペースで増加し、全体としては緩やかな伸びにとどまった。新規輸出受注も同様に緩やかなペースで拡大。拡大ペースは2月の8年ぶりの高水準から減速した。受注残の増加が鈍化する中、全体の雇用は4か月で最も緩やかなペースで増加した。購買コストの上昇率は11か月ぶりの高水準に加速したが、販売価格の上昇ペースは鈍化した。また、生産高見通しに対する景況感はほぼ1年ぶりの最低水準まで低下した。

調査手法

S&Pグローバル日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめている。対象セクターには消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されている。データ収集は2007年9月に開始されました。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数（ディフュージョン・インデックス）です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

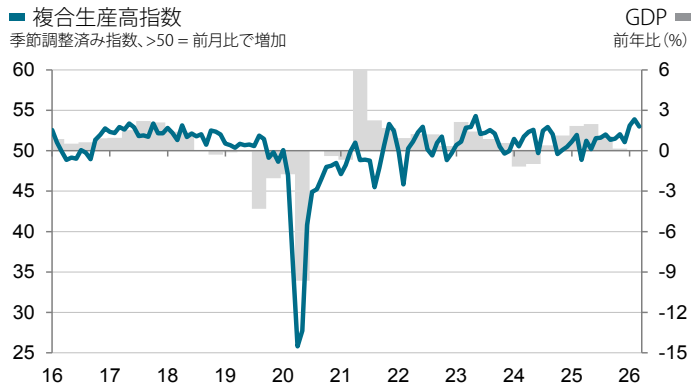
基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標または登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料（「コンテンツ」）の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー（「コンテンツプロバイダー」）は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落（疎漏など）、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失（喪失利益や逸失利益、機会費用など）について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



お問い合わせ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・
ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話：+44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

Eri Amano
アジア太平洋シニア・
コミュニケーション・マネージャー
電話：+81 (0) 80 3174 7658
eri.amano@spglobal.com
press.mi@spglobal.com

S&Pグローバルからお届けするニュースリリースの配信停止をご希望の場合は、press.mi@spglobal.com宛てにその旨お知らせください。当社プライバシーポリシーは、[こちら](#)からお読みいただけます。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください：www.spglobal.com

PMI (購買担当者指数) について

「購買担当者指数™ (PMI)™」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。